

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会
 会長 新垣安男 事務局長 高崎大史
 那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3 階
 沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

2018 6.7
 19 期 No.1
 《部内資料》

県社保協設立 20 年総会 記念講演とあわせ 91 名参加



6月2日、16時から豊見城市社会福祉センターにて、県社保協設立20年、2018年度定期総会が開催されました。

冒頭、新垣安男会長よりあいさつ

高崎事務局長より、総括方針報告。

戦後最悪の社会保障制度改悪から住民の命と暮らしを守る運動を自治体や地域と共同してすすめようと提案。

討議では、「こども医療費無料化署名にとりくもう」(保険医協会 仲里会長)など各団体より7名発言、地域社保協より6名リレートーク。13名の発言で総会を盛り上げました。引き続き、新垣安男会長はじめ新役員を選出。山里新副会長のあいさつで一部を閉会しました。

17時30分より、大阪社保協の寺内順子事務局長の記念講演「社会保障と自治体の危機にどう立ち向かうか」大阪の豊富な地域社保協の経験から「社保協抜きに地域の社会保障制度の改善は考えられない」という明快なお話。参加者からは「沖縄でも地域社保協の拡大を」「情報収集と分析、地域の運動の進め方がよくわかった」「社保運動を支える一人になりたいと思った」など好評でした。

自治体首長からは翁長県知事、那覇市長、糸満市長、浦添市長、南風原町長、与那原町長、西原町長、今帰仁村長、北中城村長の9名からメッセージをいただきました。



選出された役員	
会長	新垣安男 (民医連)
副会長	大城郁男 (医療生協)
副会長	仲里尚実 (保険医協会)
副会長	高嶺朝広 (民医連)
副会長	穴井輝明 (県労連) 新
副会長	瀬底律子 (生健会) 新
副会長	山里昌毅 (年金者組合) 新
事務局次長	高崎大史 (民医連)
事務局次長	比嘉直樹 (沖縄協同病院) 新
事務局次長	知念毅 (医療生協)
事務局次長	平田清憲 (医労連)
事務局次長	新里和也 (冲教組那覇支部)
事務局次長	西銘耕史 (保険医協会)

沖縄県社会保障推進協議会設立 20 周年記念総会知事メッセージ

はいさい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。

沖縄県社会保障推進協議会が設立 20 周年を迎えられましたことに対し、心からお祝い申し上げます。

設立以来、会長の新垣安男様をはじめ、会員の皆様には、社会保障制度について、県民目線に立った幅広い御意見等をいただくと共に、講演や先進事例の紹介等により、県民へ広く制度の啓発を行っていただくなど、社会保障制度の改善、充実を目指す取組に多大な御尽力をいただいていることに、深く敬意を表します。

さて、沖縄県においては、深刻な子どもの貧困や待機児童の問題、少子高齢化の進行などに伴い、子ども医療費助成や国民健康保険等の社会保障制度に関する様々な課題が残されております。

このため、沖縄県では、それぞれの地域で県民が適切なサービスを受けられるよう、保健、医療、福祉の提供体制を整備するとともに、人材育成の充実など各種施策を展開し、「沖縄21世紀ビジョン改定基本計画」に掲げる「健康・長寿おきなわ」の復活や、将来を担う子ども達が夢や希望を持って、健やかに生まれ育ち、豊かな才能を発揮できる社会の実現を目指し取り組んでおります。

貴会におかれましても、県民一人ひとりが、心豊かで安全・安心に暮らせる社会の実現に向けて、今後とも、県政に対する御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、設立 20 周年の節目を迎えられました沖縄県社会保障推進協議会の今後益々の御発展と、本日お集まりの会員の皆様の御活躍、御健勝を祈念しましてお祝いの言葉といたします。

平成 30 年6月2日
沖縄県知事 翁長 雄志

社保運動 2018 のイメージ 20180501



基調講演

木村草太氏

憲法学者

憲法 25 条の力

(仮題)

2019 年

4.21 日 13:00~

沖縄県男女共同参画センター

ているホール

主催：沖縄憲法 25 条を守るネットワーク

沖縄県社会保障推進協議会

実践交流リレートーク募集中です

〈連絡先〉事務局 県社保協 098-833-3397 (高崎)

沖縄憲法
25 条
県民集会

暮らしを守る取り組みを 県社保協20年講演会

県社会保障推進協議会
(新垣安男会長) の定期総
会と設立20年を記念した講
演会が2日、豊見城市社会



福祉センターで開かれた＝
写真。大阪社会保障推進協
議会（大阪社保協）の寺内
順子事務局長が「社会保障
と地方自治の危機にどう立
ち向かうか」の演題で講演
し、情報公開と自治体への
独自アンケートなどを通し
てデータを集積する取り組
みなどを紹介した。

大阪社保協は、51の地域
社会保障推進協議会を組織
している。寺内事務局長は
「社保協なくして地域住民
の命と暮らしを守ることは

できないと確信している」
と強調し、各地域の社保協
づくりを推進している意義
を語った。

また、毎年4月から大阪
府内の43市町村に対して、
国民健康保険や介護保険、
子ども施策などのアンケ
ート調査を実施している取
組みを紹介した。自治体の
比率や順位を分析して冊子
を作成し、冊子を自治体に
渡すことによって市町村と
の信頼関係を構築している
ことを明かした。